

2021年9月期決算説明会資料

2021年11月18日

レカム株式会社

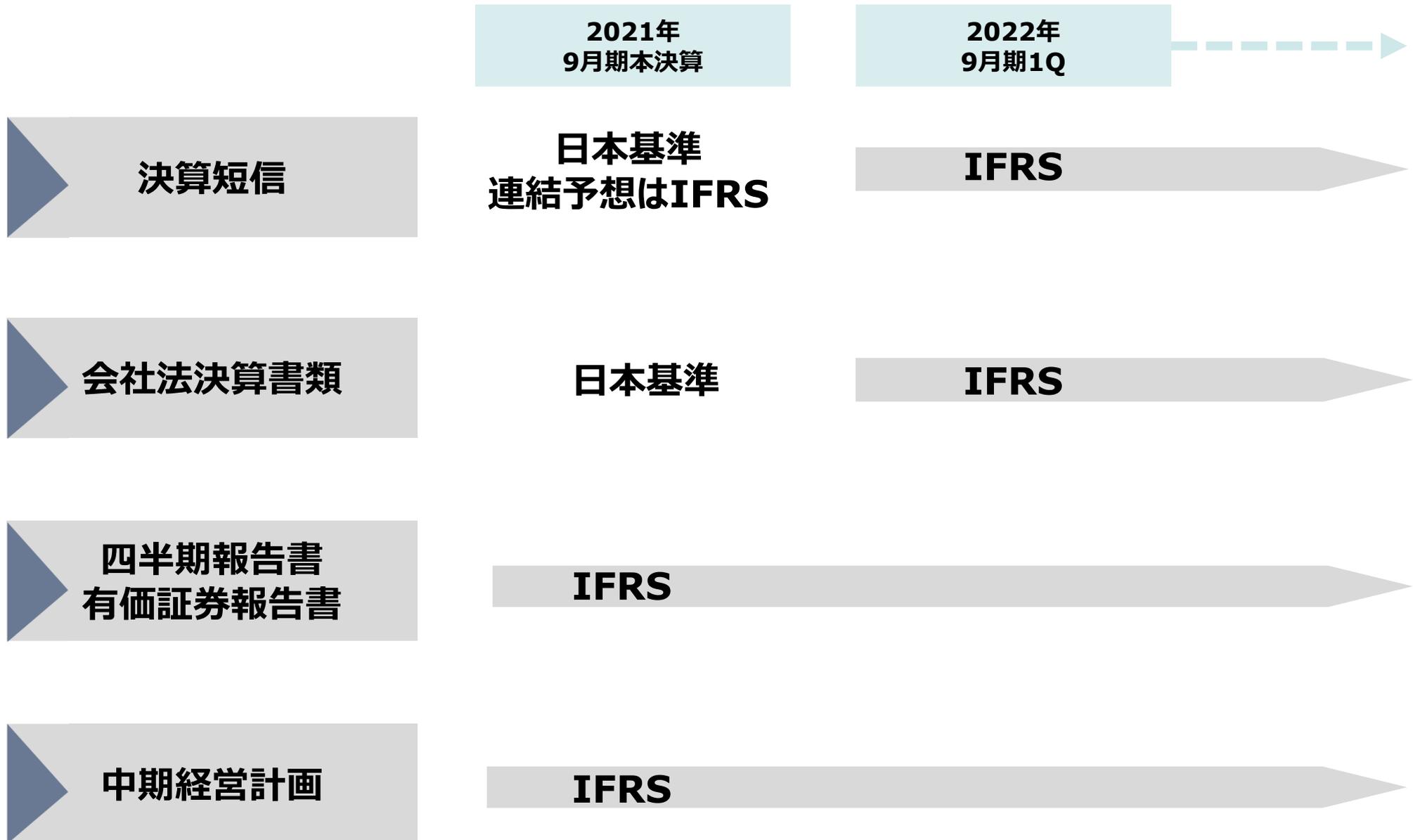
JASDAQ(3323)

(2021年11月19日改訂)

2021年9月期決算

2022年9月期通期業績予想

IFRS(国際財務報告基準)任意適用



総括

回復基調
減収ではあるが、営業利益は黒字
8年ぶりに当期利益は大幅赤字

海外ソリューション 事業

大幅減収・赤字

国内ソリューション 事業

減収・赤字

BPR事業

増収・増益

※2021年9月期より、セグメント区分を海外法人事業は海外ソリューション事業に、ITソリューション事業及びエネルギーソリューション事業を国内ソリューション事業に変更いたしました。

連結業績サマリー



(単位：百万円)	2020年9月期実績 (日本基準)	2021年9月期実績 (日本基準)	上：前年比 下：増減額
売上高	8,739	7,796	89.2% -942百万円
売上総利益	2,674	2,773	103.7% +99百万円
営業利益	△ 345	5	黒字化 - +351百万円
経常利益	△ 244	△ 51	- +193百万円
当期純利益	327	△ 674	- -1,001百万円

■事業譲渡済みの事業で9億円減収

①光回線事業の譲渡 減収額 4億円

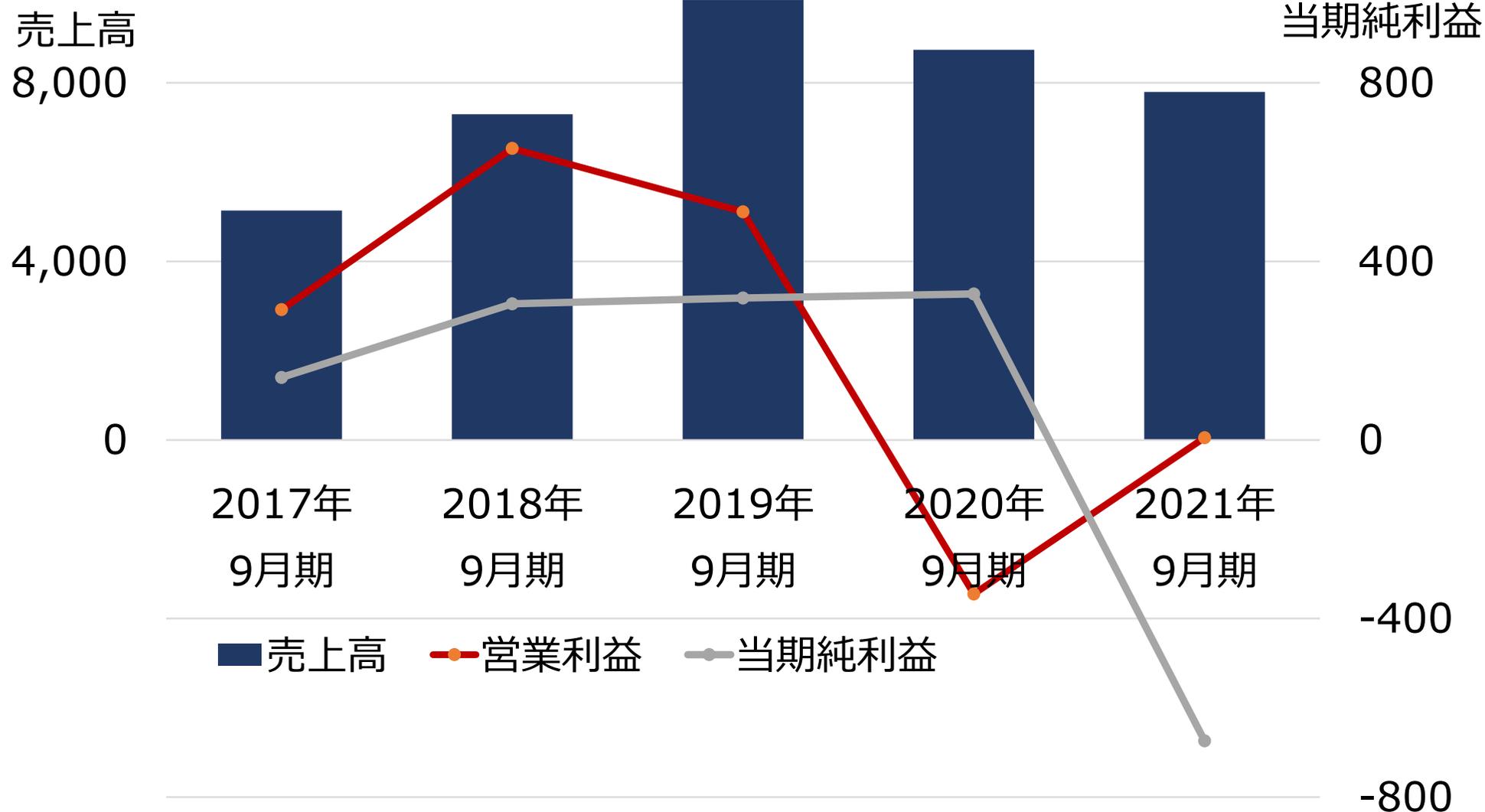
②太陽光発電システム事業の減収 減収額 5億円

■現在継続している事業における減収は海外ソリューション事業による

事業会社	新型コロナウイルスの影響による活動	売上高 前年比の差額
タイ	前期に比べ、感染者数の増加により、顧客訪問ができない日数が増加	-1百万円
ベトナム	前期に比べ、活動制限令の期間長期化、ひと月の休業を強いられた	-106百万円
マレーシア	行動制限等により今期客先訪問可能日数は僅か57日、かつ、ひと月を越える休業状態となった	+14百万円
インドネシア	ひと月の休業および行動制限令により出社できない日数が増加	-31百万円
	合計	-124百万円

売上高、営業利益、当期純利益推移

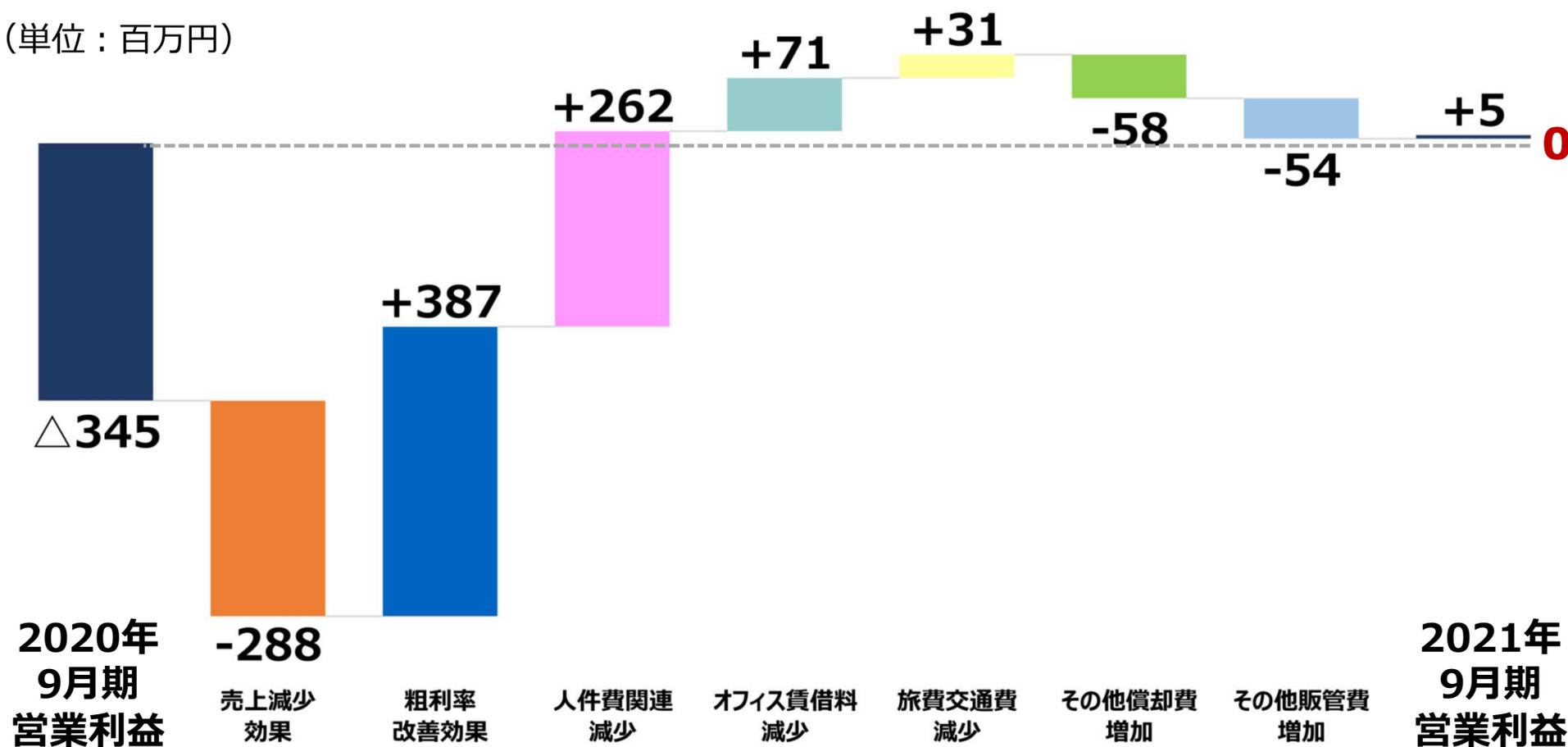
(単位：百万円)



営業利益の増加要因分析

- 戦略商品展開で粗利率が上昇
(2020年9月期粗利率30.6%⇒2021年9月期35.6%)
- 構造改革で販管費削減 (海外人件費前年対比74.9%)

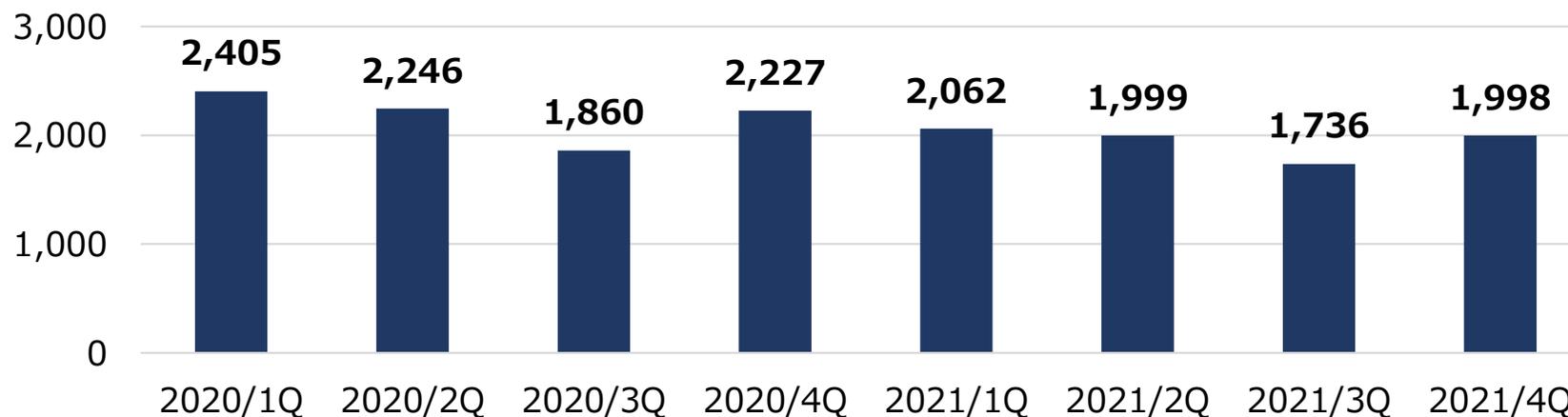
(単位：百万円)



売上高は前年比に比べ減少したが、営業利益は前年を上回り2Q、4Qは黒字化

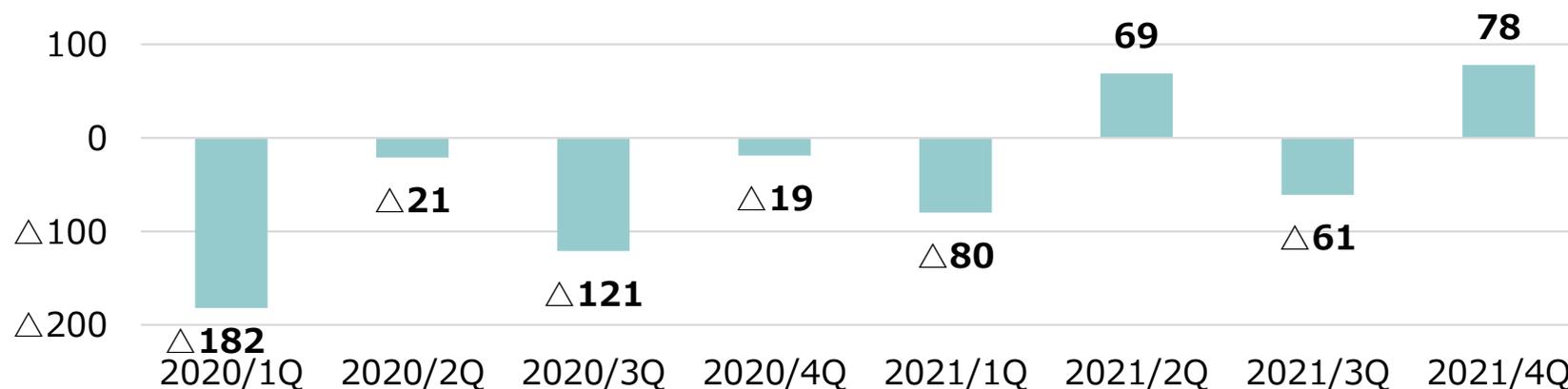
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表サマリー



(単位：百万円)	2020年9月期	2021年9月期	増減額
流動資産	6,805	6,023	-782
固定資産	3,095	2,489	-605
繰延資産	10	6	-4
資産合計	9,910	8,518	-1,391
流動負債	3,279	2,986	-292
固定負債	1,235	888	-347
負債合計	4,514	3,875	-639
純資産合計	5,396	4,643	-752
負債純資産合計	9,910	8,518	-1,391

■【資産合計】 8,518百万円

増減額 (-1,391百万円)

- 借入金の返済及び法人税の支払等により、現金及び預金が375百万円減少、受取手形及び売掛金が384百万円減少、のれん640百万円減少

■【負債合計】 3,875百万円

増減額 (-639百万円)

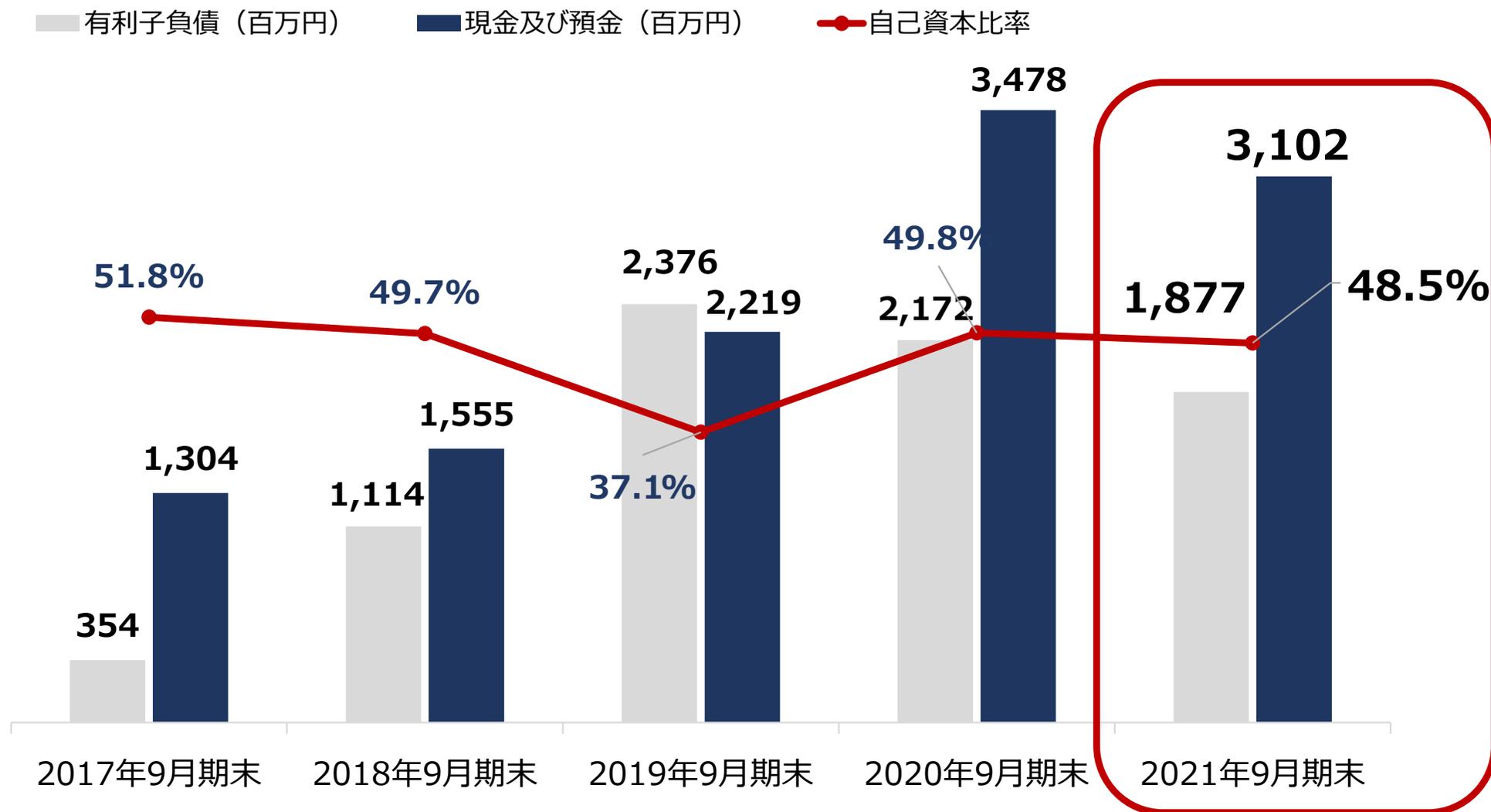
- 未払法人税等が179百万円減少、長期借入金（一年内返済予定長期借入金含む）が496百万円減少

■【純資産合計】 4,643百万円

増減額 (-752百万円)

- 配当支払い及びのれんの減損等により当期純損失となり、利益剰余金が837百万円減少

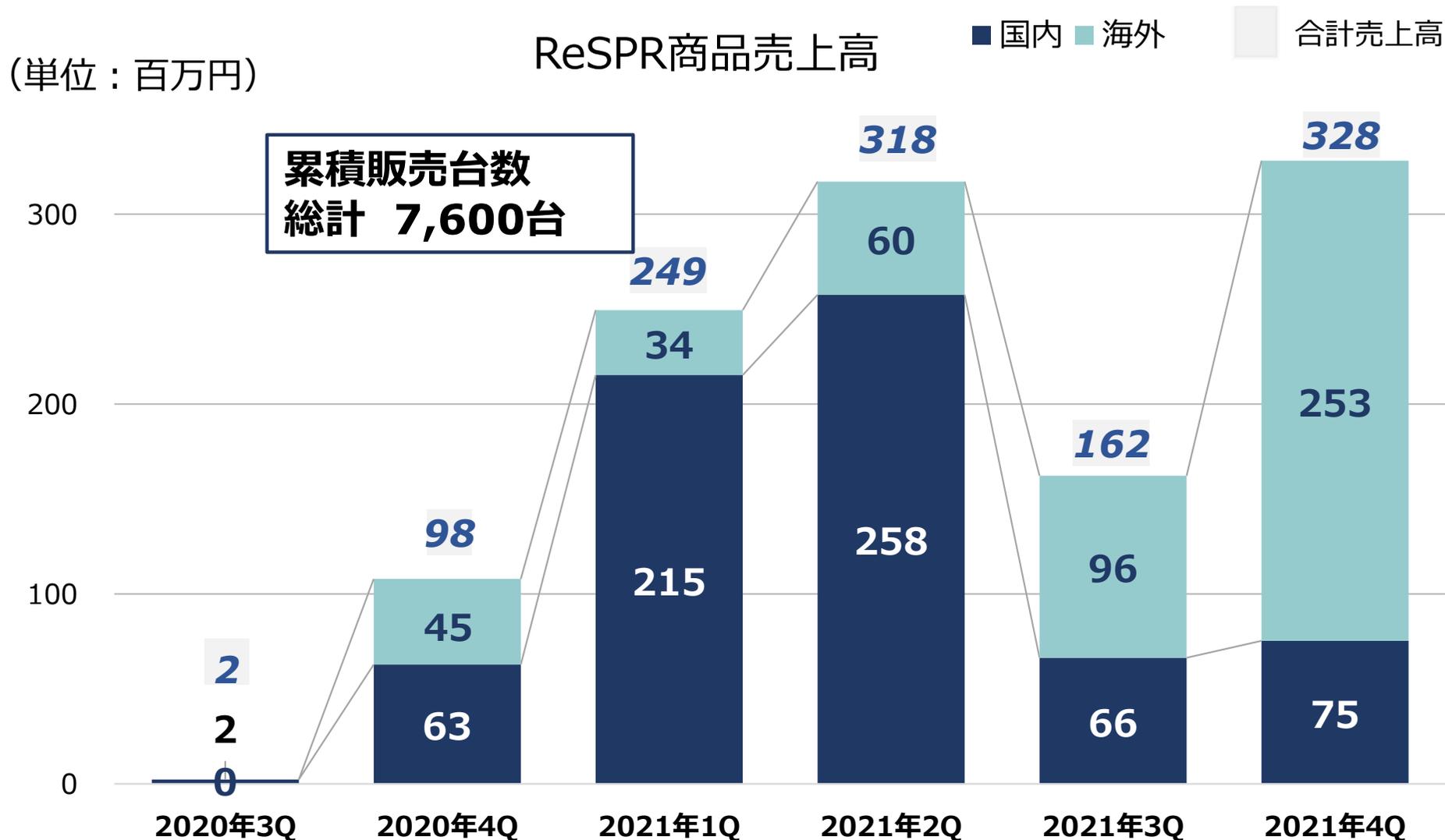
■自己資本比率は48.5%、健全な水準を維持



「ReSPR(レスパー)」の販売状況



国内は新型コロナウイルス感染防止対策補助金終了により減速、海外は企業のコロナ対策ニーズが高まり6月以降受注が急増し、売上は大幅増



事業セグメント別実績



(単位：百万円)	2020年9月期 (日本基準)	2021年9月期 (日本基準)	前年比
■セグメント売上高			
海外ソリューション事業	1,707	1,350	79.1%
国内ソリューション事業	6,514	5,899	90.6%
BPR事業※	636	727	114.2%
調整額	△119	△180	-
合計	8,739	7,796	89.2%
■セグメント利益			
海外ソリューション事業	△380	△13	-
国内ソリューション事業	14	△8	-
BPR事業	118	128	108.7%
調整額	△97	△101	-
合計	△345	5	-

※：内部取引含む

セグメント売上高

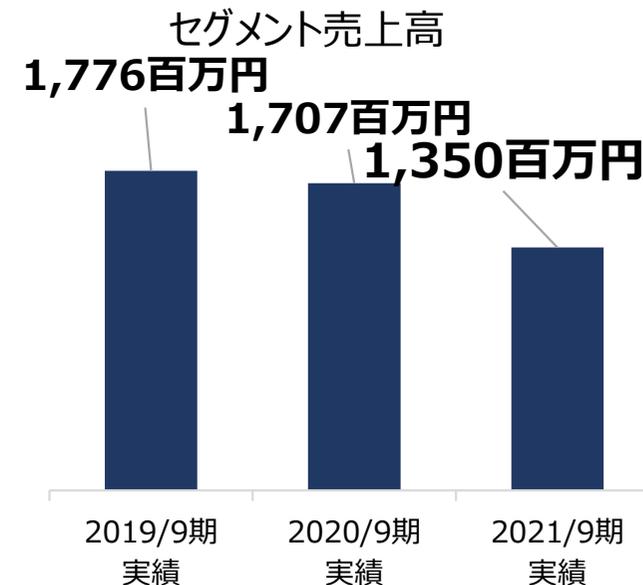
1,350百万円

前期比 79.1%

■セグメント売上高：

大幅減収

- ▶ 活動制限令等により営業活動に支障を受け、工事訪問できずLEDの販売に影響受け減収



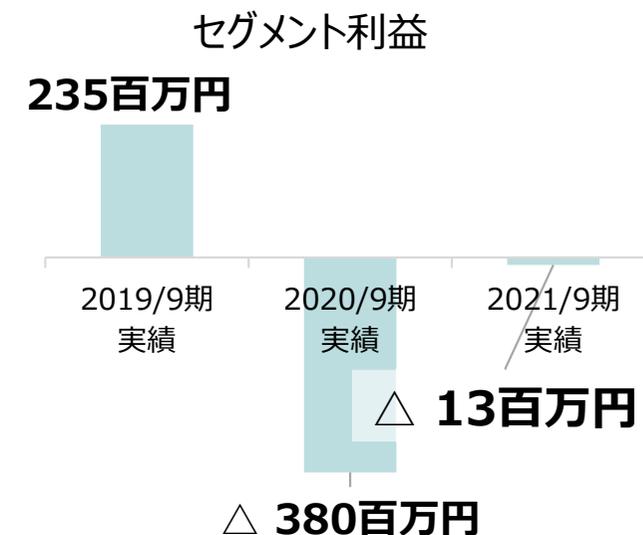
セグメント利益

△ **13**百万円

前期比 +367百万円

■セグメント利益：赤字

- ▶ 事業再構築と経費削減により赤字幅は縮小



セグメント売上高

5,899百万円

前期比 90.6%

セグメント利益

△ **8**百万円

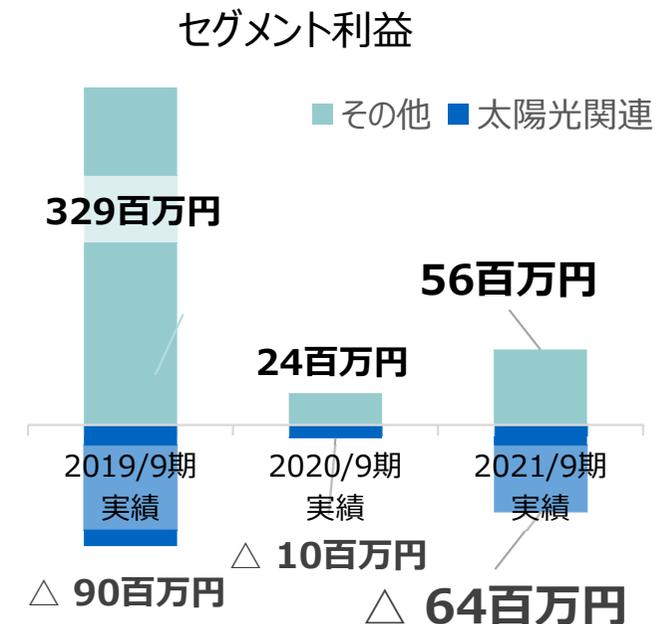
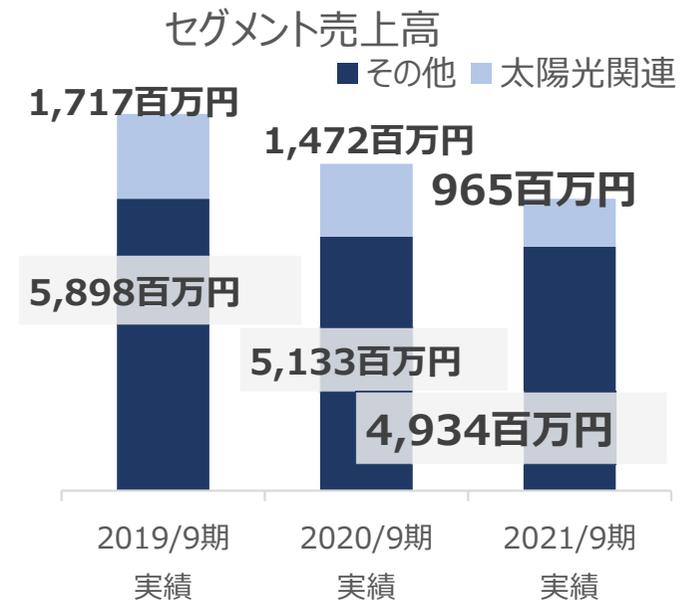
前期比 -22百万円

■セグメント売上高：減収

- ▶ IT機器、UTM販売が微増、LED販売が増収
- ▶ 子会社売却による売上減、太陽光関連はコロナ禍により商談数が減少し減収

■セグメント利益：赤字

- ▶ レスパーの粗利率が貢献したが、太陽光関連の影響により赤字



セグメント売上高

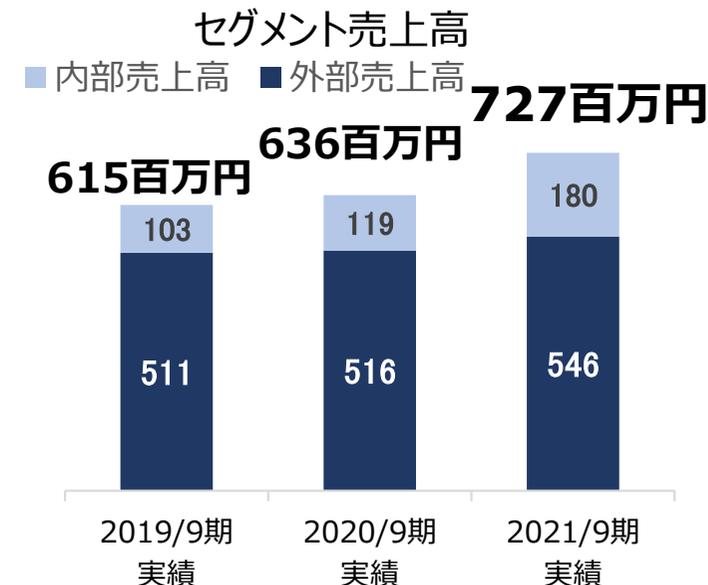
727百万円

前期同期比 114.2%

※内部売上含む

■セグメント売上高：増収

- ▶ 既存顧客からの受託業務の拡大や継続、また、新規顧客の受注獲得により増収



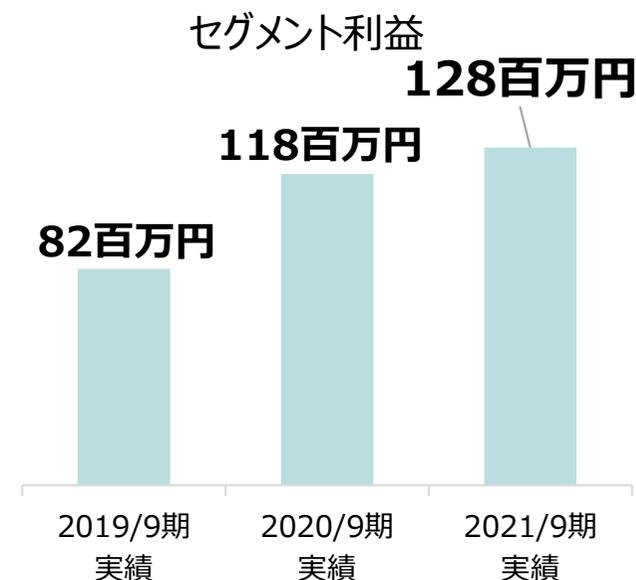
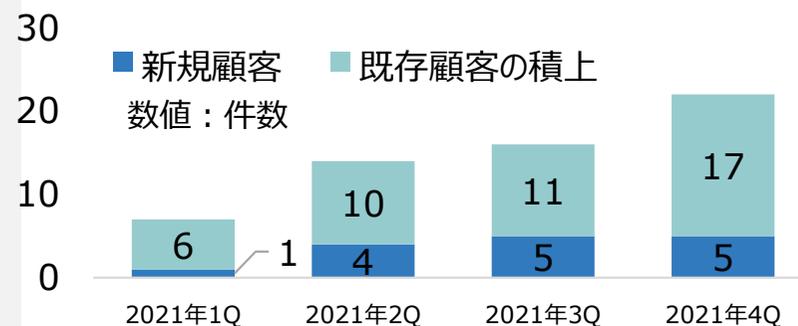
セグメント利益

128百万円

前年同期比 108.7%

■セグメント利益：増益

- ▶ RPAの推進・生産性向上により、増益



※上記BPR事業の売上数値は外部、内部売上の合算値

連結業績の会計基準の差異

- IFRS会計基準では、営業利益は200百万円となり、税引前利益は140百万円の黒字

(単位：百万円)	2021年9月期 実績 (日本基準)	2021年9月期 実績 (IFRS※)	差異金額 (IFRS-日本基準)	主な差異理由
売上高	7,796	6,628	-1,168	非継続事業 (-895)、 収益認識基準の違い (-272)
営業利益	5	200	+195	のれん償却費 (+298)
税引前利益	△413	140	+553	非継続事業 (+225)、 減損損失 (+125)
当期純利益	△674	△320	+354	非継続事業 (+259)

※IFRSに基づく2021年9月期実績は日本基準との差異を調整し作成した参考値であります。



2021年9月期決算



2022年9月期通期業績予想

■ IFRS会計基準において売上高は1.4倍、営業利益は約2.4倍に増加予想

(単位：百万円)	2021年9月期 実績 (IFRS)	2022年9月期 通期予想 (IFRS)	前期比
売上高	6,628	9,600	144.8%
海外ソリューション事業	1,350	3,100	229.6%
国内ソリューション事業	4,731	5,700	120.5%
BPR事業	546	800	146.5%
営業利益	200	480	240.0%
税引前利益	140	450	321.4%
当期純利益	△320	260	—

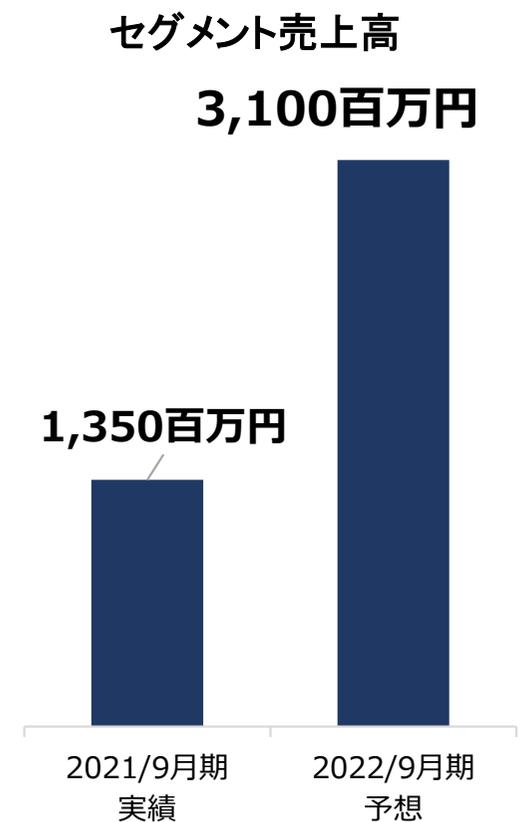
セグメント売上高予想	3,100百万円
前年対比	229.6%

■ マレーシアSLW社による売上寄与

- ・ フィリッパス社ベストパートナーのSLW社のLED製品、当社LED照明自社ブランド「RENTIA」の相互販売

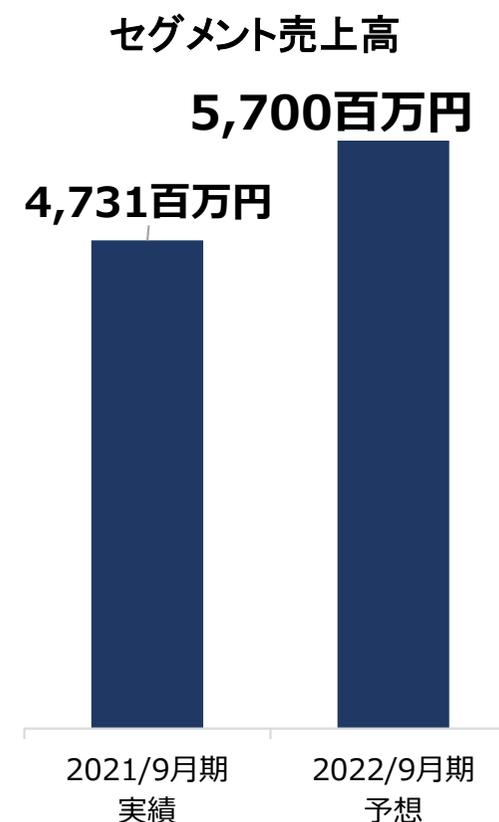
■ LEDを中心とした脱炭素商材の販売強化

■ ReSPR商品シリーズのラインナップの充実により販売強化



セグメント売上高予想	5,700百万円
前年対比	120.5%

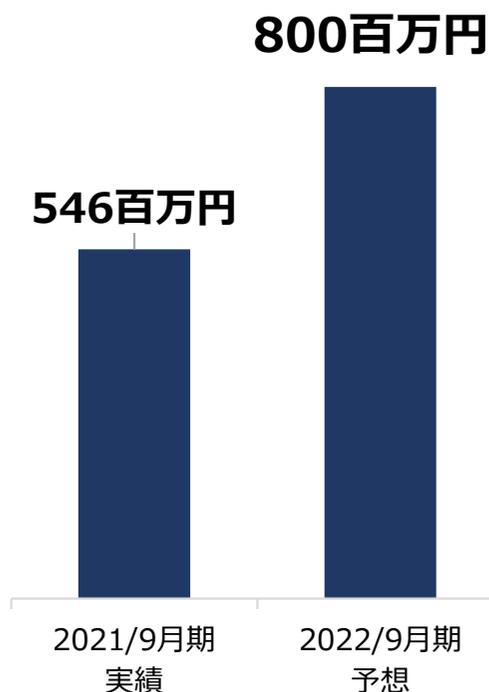
- ネットワークセキュリティ商材の販売強化
- LEDを中心とした脱炭素商材の販売強化
- SFA導入による営業生産性の向上



セグメント売上高予想	800百万円
セグメント利益予想	146.5%

- 既存顧客への受託業務の拡大
- 新規顧客の営業強化
- 国内ソリューション事業顧客への販売
- センター業務の効率化・品質向上

セグメント売上高



海外ローカルマーケット攻略のためのローカル企業のM&A



2021年10月にマレーシアローカル企業Sin Lian Wah Lighting社を完全子会社化



社名	Sin Lian Wah Lighting Sdn. Bhd.
所在地	マレーシア
事業内容	電器・照明器具の卸売業（主に照明器具）
売上高	1,453百万円（2020年6月期実績）
社員数	25名



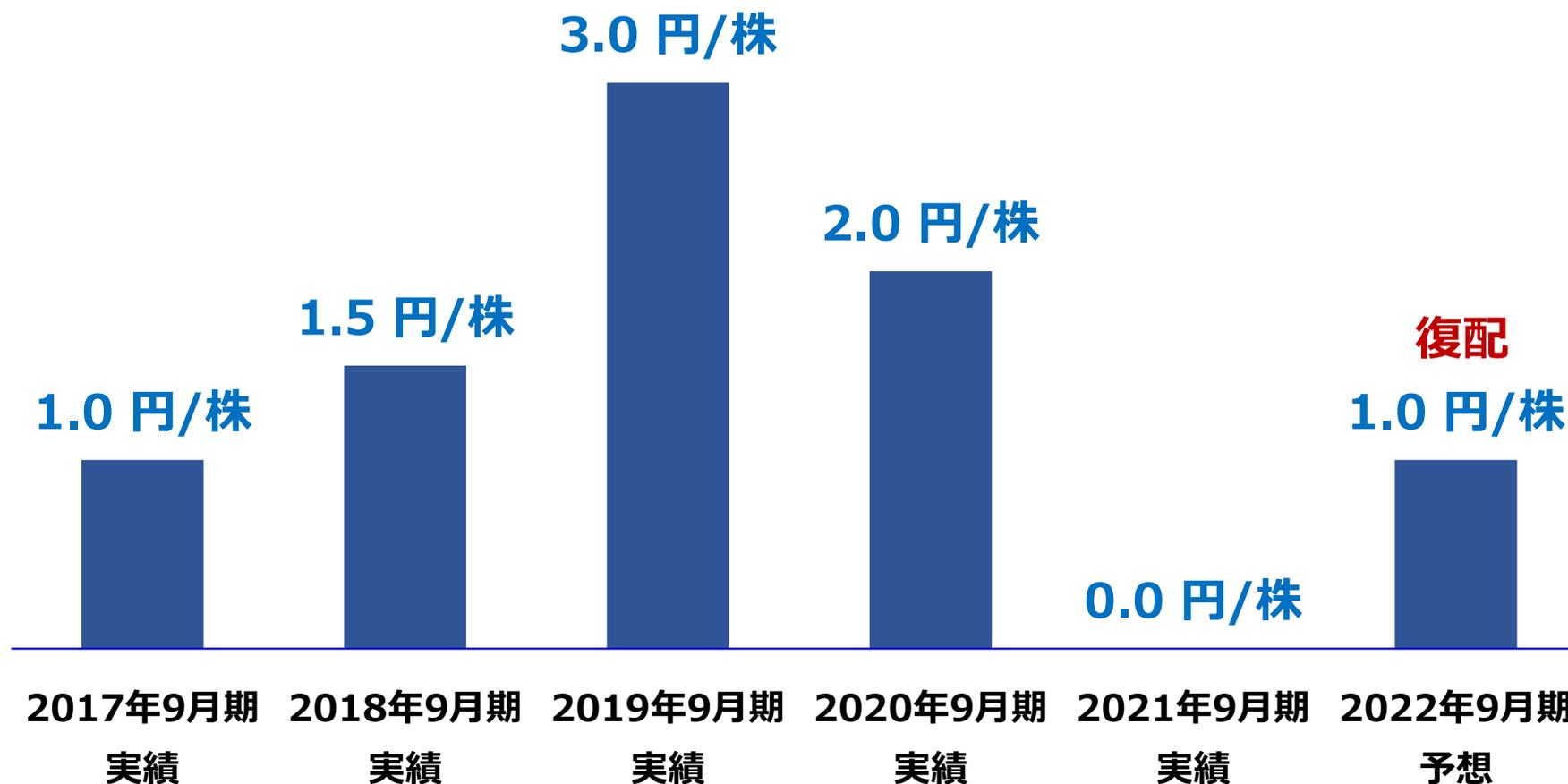
2021年6月にシンガポールローカル企業Greentech International社を持分法適用関連会社化



社名	Greentech International Pte. Ltd.
所在地	シンガポール
事業内容	電気部品の販売事業
グループ売上高	940百万円（2020年12月期実績）
グループ社員数	42名

- ローカルマーケットへ早期進出
- 成長戦略における戦略的パートナーシップの確立

配当予想 1株1円を計画



A large, stylized world map composed of blue dots of varying density, serving as a background for the central text.

**BtoBソリューションプロバイダーとして
世界を代表する企業グループへ**

- 本資料もしくは口頭による説明において、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の予想です。これらは、現在入手可能な情報を基に当社経営陣が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- 本資料は、株主・投資家等の皆様に当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、利用者に対して、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- 情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるか等について一切保証するものではありません。また、掲載された情報またはその誤りについて、その理由の如何に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関する御問い合わせ

レカム株式会社 IR担当

Email : ir@recomm.co.jp URL : <http://www.recomm.co.jp>